

秋田県角館町

対策時期 : H16.4~5
 事務所名 : 秋田河川国道事務所

桜まつり期間の渋滞問題に対する取り組み / コストをかけずにソフト対策で

秋田県角館町では、毎年桜まつり期間中に渋滞問題が発生。
 抜本的対策として角館バイパス整備の進捗を図っているが、年々増加する観光客（約133万人）や増大する観光交通の渋滞緩和を図るため、「角館桜まつり」主催者と道路管理者や警察などの関係機関が連携し渋滞緩和に向け、コストをかけずにソフト的な短期対策に取り組み。
 取り組みにあたっては、予め渋滞削減目標（2割削減）を定め、その達成度を評価し、次回の取り組みに反映するマネジメントサイクルの考え方を導入。
 具体的な取り組み内容（ソフト対策）は、駐車場容量の拡大（角館バイパス用地を活用した臨時駐車場等）、交通規制・車両誘導（方面別駐車場配置・大型車と乗用車の分離専用化等）、**渋滞・駐車場情報の提供（インターネット・携帯サイト等を利用）を実施。**



H15桜まつり 駐車待ちの車で渋滞している国道46号



出張所のイニシアチブにより関係機関が連携し対策の検討を実施



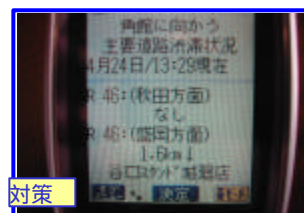
対策

角館バイパス用地を活用した臨時駐車場



対策

町内駐車場の満車状況を発信し、車両進入を抑制



対策

携帯電話サイトによりリアルタイムの渋滞情報を提供

これらの取り組みをマスコミに広報し、新聞やテレビで県民に広くPR（記者発表4回、テレビ放映3回）するとともに、取り組みチラシを道の駅、SA、PAなどで広域的に配布。

渋滞の大幅緩和で苦情も激減 / 今回の成果を評価し次回へ反映

渋滞対策の効果で、**渋滞損失時間が22分(H15)から1分(H16)へと半減。**
 期間中、角館町に寄せられた**苦情が147件(H15)から5件(H16)に激減。**
 来訪者へのアンケートでは「道路が渋滞していた」との指摘は約1割、「迷わずに駐車場に到着した」が**約8割と概ね良い評価。**
 しかし、一部課題も確認され「角館観光期渋滞対策検討会」でさらに検討、次回に反映。